

# 友和

NO. 567

発行日 令和6年7月1日

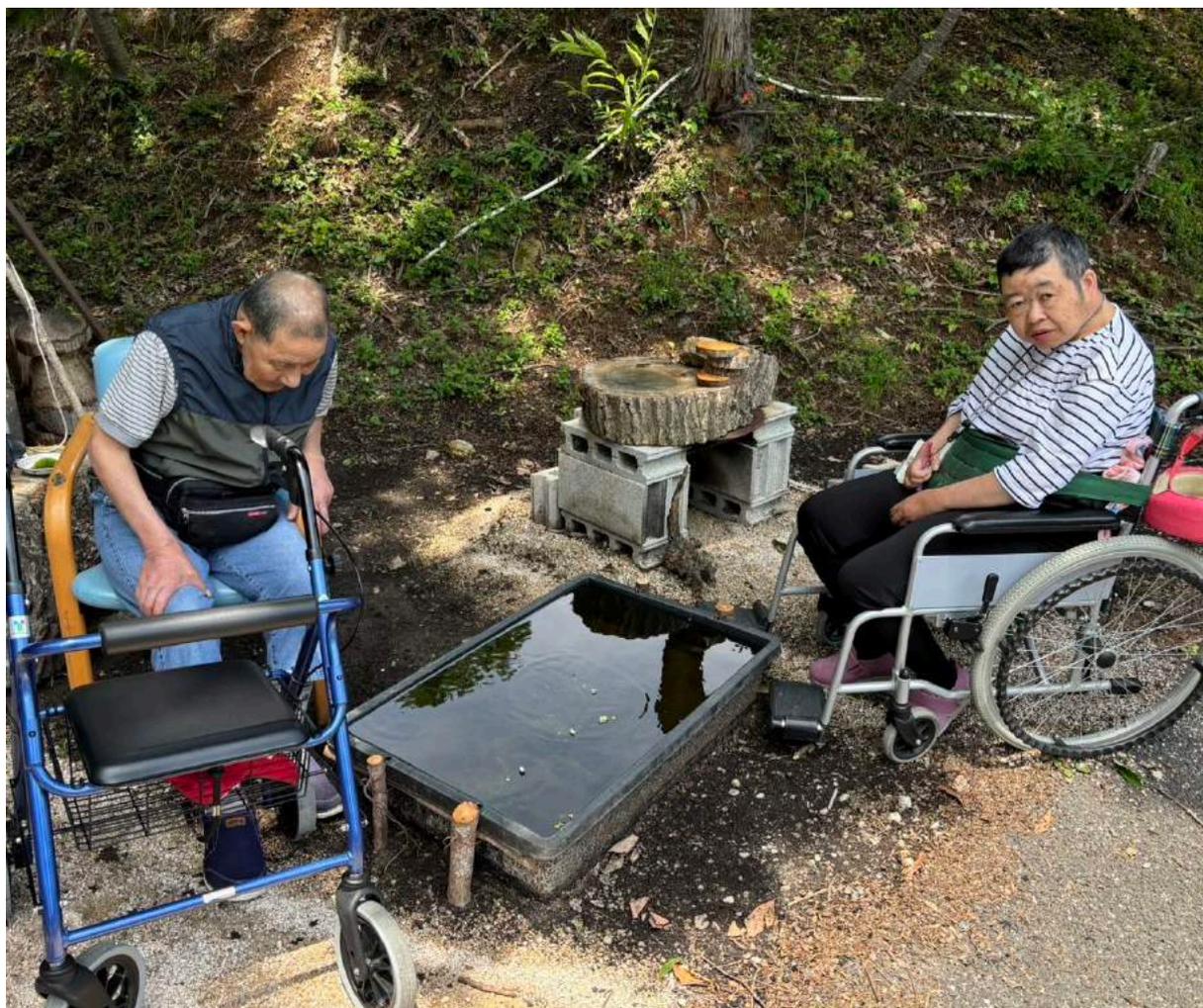
発行 社会福祉法人 友和の里  
〒738-0203

広島県廿日市市友田 218-38

TEL0829-74-2157 FAX0829-74-2154

HP : <http://yuuwanosato.com/>

発行者 常務理事 下川真稔

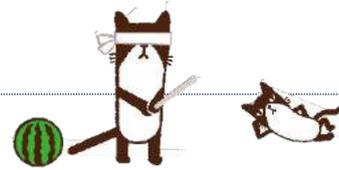


遊歩道入り口にある小屋付近に設けられた水槽



遊歩道上り口にメダカを飼っているという話を聞いて、フレンドホームゆうわの入居者さんで昼休みに、そーっと覗きに行ってみました。ちょっとした散歩に良い感じ!他の人たちも誘ってまた覗きに行ってみようと思います

(主任生活支援員 吉村 愛)

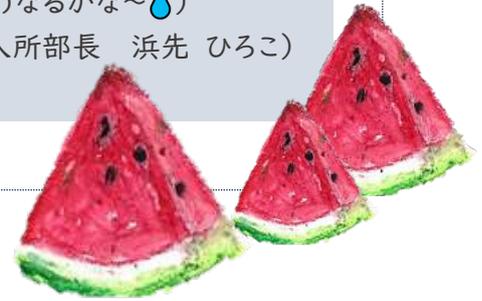


## ころもきたい!

「花やら、葉っぱやら、大きくなってるね!!」と、ステップ活動で植えたスイカの水やりから帰って来た利用者さんが声掛けをしてくれました。「本当に!!レクの時に食べるのが楽しみじゃね!!」と質問すると「美味しいよ」と元気に返事をしてくれました。定期的に何人かで利用者さんが、畑に水やりなどのお世話をしに行かれます。皆さん活動後は、ニッコリ笑顔で成長するのを楽しみにされている様子です。職員は7月のレクリエーション活動時にスイカ割りをする予定なのです。間に合うのか…先月から不安な様子の職員さんですが…

来月の友和だよりに乞うご期待!(どうなるかな~💧)

(入所部長 浜先 ひろこ)



## あたらしくなっ ねよ

入所部では今月 12 日(水)~15 日(土)にかけて女性棟の壁紙工事をを行いました。長年の生活で壁紙が剥がれてきてしまい、剥がれた箇所が気になる利用者さんもおられました。壁紙が新しくなった事で今までとはまた少し違った雰囲気にも感じられます。これからも利用者さんが生活しやすい環境を提供していきたいと思っております。

(生活支援員 中原 瞬)



あたらしい壁は上半分が板張りで手すりから下部分が壁紙使用となり、明るく清潔感がありました。さわるとつるつるしており、清掃もしやすくなっているかなと思えました。以前の壁に比べると強度があがっているようです。

### 貝通し班

6月中は各業者へ完成した採苗器<sup>さいびょうき</sup>の納品を行いました。貝通し班の皆さんが頑張った成果です。今月のメンバー紹介は申ノアさんです。貝を通し終える度「出来ました」と教えてくれます。日中活動棟での昼休憩中には、アルファベットのパズルをして過ごしています。これからますます気温が上がるので、皆さんの様子に気をつけながら作業に取り組みたいと思います。

(生活支援員 井場 孝行)



### 陶芸班

干支の型流しが始まりました。今月から型流しと豆管入れを両立して取り組んでいます。久々の型流しですが皆さんとても上手にされていて、さすがだなあと感心しました。

(生活支援員 堂面 なみ)



### 療育班

ちぎり絵で7月のカレンダーを制作しました。7月といえば、“七夕”ということで、夜空に輝くお星さまと織姫と彦星という七夕の絵をちぎり絵で表してみました。

(生活支援員 濱田 吉弘)



### 創作班

今回は作業の流れについて紹介します。  
①活動開始のチャイムが鳴ると、みなさん自主的に作業部屋まで来ます。  
②各自作業前の準備をした後に決まった席に着きます。  
③それぞれ自分のペースで作業をします。  
④作業終了後は各々片付けをした後にホールに戻ります。

(生活支援員 寄尾 博孝)



### 開所日ワクワク通信

6月の開所日は、シャボン玉を楽しみました。棒に付けたシャボン玉液を“ふうー”と吹き付けて大小さまざまなシャボン玉を作ったり、ボタンを押すだけでとても奇麗でたくさん出てくるシャボン玉など、友和の里の前庭がシャボン玉に包まれた1日でした。

(生活支援員 濱田 吉弘)





## テイクアウトへ Let's Go!!

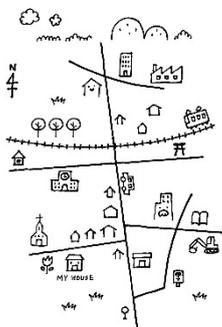


今回は6/14に開催されたグループホームゆうわでの夕食会の様子を紹介します。これまでに行ったことのない所でテイクアウトをしよう!という裏テーマを掲げながら、ラーメンが食べたいというリクエストも多かったこともあり、今回の行き先は「餃子の王将」に決まりました。作業はお昼で切り上げさせてもらい、車で王将へ。14時過ぎの到着にもかかわらず、店内はお客さんでいっぱいでした。人数分のメニュー表をお借りして、ご入居者の方にはゆっくりとご自分が食べたい物を選んで頂きました。メニューによっては持ち帰りができないものもあり、「これはダメだけど…これならイケます!」と夢中で選んでいたのもあってか、何とその時の写真をすっかり撮り忘れてしまいました。やってしまいました…。グループホームへ帰り、みんなでそろっていただきまーす。みなさんお腹いっぱいで大満足です。本来であればあたり前のことなのでしょうが、コロナ渦が去り外出や外食がしやすくなったことがとても嬉しく思えます。

(生活支援員 香川 剛司)

あなご

ちゃんご



朝、バス駐車場に到着して利用者さんを安全に気持ちよく送迎できるよう点検、掃除を行います。そこから友和まで2時間程度の送迎が始まります。広島市中心部の通勤、通学時間とも重なるため交通量も多く特に自転車や歩行者に注意しながら集中して安全運転を心がけています。停留所で保護者の方やヘルパーさんと挨拶を行い利用者さんを迎え入れて行きます。

大変な業務ですが、ほっこりする出来事もあります。県庁でトイレを借ります。添乗員とトイレへ行くのですが、守衛さんや掃除業務の方へ挨拶を行い、用を足して出て行く時には必ず「いってらっしゃい」と声をかけていただきます。毎朝気持ちよく迎え入れて頂き感謝です。その待ち時間に野島さんがふるさとを歌ったことがあります。その歌につられ石田さんと、後部席に座る兼清さんの3人での合唱が始まりました。運転中に歌声は時々聴こえてくるのですが3人での合唱は初めての体験で少し驚きましたが楽しい気持ちになりました。歌を歌われたり、寝ておられたり、外の景色を眺められたりとバス内での様々な過ごし方があると思いますがこれからも安全運転に努め安心して快適に乗っていただけるよう心がけて行きたいと思っています。

(生活支援員 原田 裕之)

## 広原山だより その7



ここ広原山には、風向きによって時折り栗の花のおせるような独特の香りが運ばれてきます。梅雨入り(6月22日に入梅)も間近でしょうか。

先日、中学時代の同級生に会うため鹿児島県へ出かけました。その彼を誘って「しょうぶ学園(鹿児島市)」を見学。学園は、自立支援事業、文化創造事業、地域交流



事業を柱に約170名の利用者さんが、日々、暮らしを営んでお



られました。とりわけ、文化創造事業は特筆で、同級生を誘った理由のひとつでもありました。木工、染め織り・刺繍、陶芸、和紙、パン・菓子の各工房、農園があって「つくる」活動に打ち込んでおられます。作品は園内ギャラリーを始め、国内外の展覧会にも出品されているとのこと。また、パスタ

&カフェ、そば屋、パン・菓子店、クラフトショップ(売店)もあり、学園外の人たちも日常的に行き来。さらには、otto & orabu という音楽パフォーマンスのグループ活動も。それら一体的な取り組みは樹齢250年とも言われているタブの樹を中心にした深い森に囲まれた大自然の恵みの中にありました。しょうぶ学園の創設は1973年ですから1980年にスタートした友和の里の7つ違いということになります。私が捉えた特徴は何とんでも「モノづくり」です。開設から13年目で「工房しょうぶ」として活動を開始されています。以来、試



行錯誤を重ねて現在に至っているとの説明でした。同じ社会福祉法人ですが友和の里の歩み方はまったく異なっています。当然のことながら、それぞれに利用される人たちの実態、創設者の願い、保護者さんの思い、地域とのつながりなどなど背景も風景も違います。ですから、短絡に比較はできません。しかしながら、利用者さんの幸せづくりにとって参考になる、なりそうな部分は大いに活用させていただこうと思っています。そんな願いを込めての今月の「広原山だより」でした。



(常務理事 下川真稔)

### 新しい利用者さん

6月より、就労継続支援B型事業所に新しい仲間が増えました。

ふじむら あおい よしもと だいすけ  
藤村 碧さんと吉本 代佑さん  
です。よろしくお願ひします。

(生活支援員 井場 孝行)



ふじむら あおい  
藤村 碧さん  
写真は紙とセロハンテープ  
で作られた藤村さんお気に入り  
のグッズ



よしもと だいすけ  
吉本 代佑さん  
昆虫が大好きな吉本さん  
カブトムシを飼育したいと  
意欲まんまん

ぎょうじよてい  
**7月**の行事予定

7/1(月) かんりしゃかいぎ 管理者会議

7/8(月) うんえいきょうぎかい 運営協議会

7/15(祝) うみひ 海の日

7/20(土) 27(土) つうしょかいしよび 通所開所日



◇新しい職員◇



生活支援員 たしろしよえ 田代師世江さん

他己紹介



生活支援員 かじむらゆうま 梶村悠真さん



入所部に入職されたたしろしよえ田代師世江さん、珍しい名前はおじいさんが名付け親で弘法大師から一字をもらって名付けられたそうです。この度、より人に寄り添う仕事がしたいと入職を決められました。腕にはめたメモバンドにはたくさんの書き込みがあって、覚えることがおおくて大変です。と話してくれました。

同じく入所部新人のかじむらゆうま梶村悠真さん。家族が介護の仕事をしていて「やりがいがあるよ」と福祉をすすめられ入職。現在先輩職員についてひとりひとり利用者さんへの対応などを学んでいるということでした。優しい職員さんになりたいそう。家にシルバーという名前の猫がいるが僕には懐かないと話してくれました。

自己紹介



給食調理員 おくだゆうこ 奥田祐子さん

私の叔母は手足の不自由な重度障害者でした。子供の頃、よく一緒に遊んだ思い出があります。友和の里で働かせて戴きとても嬉しく利用者さんには優しくしてあげよう沢山の人の声をかけてあげたいと思う毎日です。皆様宜しくお願いいたします。



給食調理員 たけなかゆうすけ 竹中佑允さん

たけなかゆうすけ竹中佑充と申します。皆様が楽しめるような料理を提供していきたいです。よろしくお願いいたします。

## マスク着用についての指針

理事長 河野 義刀

皆さまご存じの方が多いと思いますが、新型コロナウイルス感染症の位置づけは、令和5年5月8日から、従来の「新型インフルエンザ等感染症」が「5類感染症」になりました。マスクの着用の考え方も「屋外では原則不要、屋内では原則着用」から「個人の主体的な選択尊重、個人の判断が基本、本人の意思に反してマスクの着脱をしいることがないよう配慮を」になっています。

友和の里では、集団生活にかんがみ、職員は実質、着用を継続してきたところではありますが、衛生委員会と協議をおこなった結果、7月1日以降は次のように対応することにしました。



- ① 原則マスク着用に関して、個人の判断に委ねます。なお、感染が大きく拡大している場合などには、一時的に場面に応じた適切な着用を呼びかけるなどより強い感染対策を求める場合があります。

- ② 施設利用者への対応において配慮を必要とする場合はその限りではありません。
- ③ 医療機関などを訪問する場合はその限りではありません。

- ④ 引き続き、基本的感染対策の励行として「三つの密の回避」「人と人との距離の確保」「手洗い等の手指衛生」「換気」等は継続していきます。

## 7月の献立表

1	月	ごはん・味噌汁・塩鯖・煮物・果物
2	火	ごはん・味噌汁・豚肉の柚子胡椒炒め・酢の物・果物
3	水	チキンバーガー・スープ・サラダ・牛乳
4	木	ごはん・スープ・回鍋肉・和え物・ヨーグルト
5	金	行事食
6	土	
7	日	
8	月	ごはん・スープ・鶏のパン粉焼き・炒め物・果物
9	火	ごはん・味噌汁・炒り豆腐・酢の物・果物
10	水	ビビンパ・スープ・和え物・牛乳
11	木	枝豆ごはん・味噌汁・さわらのシソ焼き・煮物・ヨーグルト
12	金	ごはん・味噌汁・牛肉と野菜の炒り煮・和え物・ゼリー
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	ごはん・味噌汁・白身魚フライ・炒め物・果物
17	水	塩焼きそば・スープ・和え物・牛乳
18	木	ごはん・味噌汁・鶏肉の照り焼き・酢の物・ヨーグルト
19	金	ごはん・スープ・豆腐ステーキ・和え物・ゼリー
20	土	ハヤシライス・スープ・サラダ・ゼリー
21	日	
22	月	ごはん・汁物・豚肉のネギ味噌焼き・炒め物・果物
23	火	ごはん・スープ・鮭のピカタ・サラダ・果物
24	水	チャプチェ丼・スープ・酢の物・牛乳
25	木	ごはん・味噌汁・豚肉の炒め物・和え物・ヨーグルト
26	金	ごはん・味噌汁・煮魚・炒め物・ゼリー
27	土	開所日メニュー
28	日	
29	月	ごはん・スープ・チキンカツ・サラダ・果物
30	火	ごはん・汁物・鯖の味噌煮・酢の物・果物
31	水	冷やし中華・シューマイ・牛乳

やむをえず献立を変更することがあります。あらかじめ御了承ください